

スキーの聖地で洗礼

木村佳司

95 年前のこの地でスキーは日本に本格上陸した。このスキーの聖地でオリエンテーリング参加者はハードなコースの洗礼を受けた。

2006 年 5 月 21 日 新潟県上越市
上越市 OLC 大会

スキーの聖地

スキーオリエンテーリングの競技者として、アルペンスキーの愛好家として一度は見ておきたかった「スキーの聖地」を今回走る機会に恵まれた。

新潟県上越市高田の金谷山。今から 95 年前の 1911 年に日本で最初の本格的スキーが導入された場所だ。オーストリアからやってきたレルヒ少佐が日本陸軍にスキー指導を行った。これをきっかけに本格的に日本にスキーが普及する発端となった場所だ。



トレイン内にあるレルヒ少佐の像
ここ金谷山は日本スキーの聖地

厳しいコース

今回ニューマップとしてお目見えしたトレインだけに、がっつりと厳しいコースが組まれた。狭い範囲ながらもその範囲をフル活用。金谷山スキー場の山頂はもちろん、急斜面もなんのその。プランナーの意気込みが伝わるようなコースが設定された。

男子上級となる MA クラスはともかく、そのほかのクラスではウイニングタイムを見る限りちょっと厳しすぎたかなと思える。



サマーポブスレーを楽しむ家族連れで賑わう春の金谷山スキー場。私は山頂からスキー場をイッキ下りのルートを選択。子供が運転するポブスレーを抜き去って駆け下った。あっという間に足の筋力が尽きてしまった。

好天に恵まれ

厳しいコース設定でも、新緑の清々しい好天なら文句は出ない。この季節の上越は実に気持ちいい。長い冬を抜けた雪国が活動を開始する季節だ。この冬に除雪で捨てられた雪がまだトレインには残っていた。



当日は好天に恵まれた。新緑の中、へろへろになるまで体を動かした。



緩斜面で通行可能バツグンの部分がある。同じトレインとは思えない。このようにコースに緩急があるから面白い。

MA 距離 6710m 登坂 435m		
1 元木悟	Team 白樺	1:23:57
2 奥村理也	ウルトラクラブ	1:40:14
3 竹内誠史	杏友会	1:42:31
WA 距離 5690m 登坂 325m		
1 森本結佳	広島 OLC	1:52:25
2 竹内千晶	杏友会	2:43:02
MB		
1 小田真正登	三条 OLC	2:25:44
2 森田輝雄	金沢 OLC	2:29:24
3 小林良範	三条 OLC	2:48:37
N		
1 保坂修司	上越市大賞	1:06:13
2 沢辺 剛	糸魚川市	1:27:03
3 沢辺若菜	糸魚川市	1:29:25



前日には北信越連絡協議会が開催。年に 1 回顔を会わせて情報交換の場となっている。どの地区も人材難に直面しているようだ。

普及への取り組み

1911 年。レルヒ少佐以上に偉かったのは、当時レルヒを受け入れた当時の師団長・長岡外史。カリスマ「レルヒ」を旗印に、日本陸軍内での訓練を推進するばかりでなく、将校の夫人や子供たちへの普及を推進したことだ。冬の間閉ざされていた街でスキーは爆発的人気となり、スキー小唄のようなプロモーションも相まって、現在のスキー人気、そしてスキー産業にまで一気に上り詰めた。

地道な推進、コラボレーション・メディアミックス・・・現代にも通じるプロモーションにオリエンテーリングも学ぶところが多い。

上越市 OLC 大会も家族連れなどが参加していた。こうした近場でのオリエンテーリングイベント開催こそがオリエンテーリング愛好家を増やしてゆくことになるだろう。

(木村佳司)